

安心・安全で、夢のある、明るい志木市の実現に向けて

平成20年度

志木市予算及び事業概要説明

平成20年度当初予算について

総括

本市の平成20年度一般会計歳入歳出予算は、166億3,400万円で対前年度比、8億500万円、率にして5.1%の増となっております。

歳入面では、歳入の大半を占める市税における個人市民税においては、納税義務者の増などにより1,700万円程度の増を見込み、固定資産税においては、家屋の新築、土地の負担調整措置などにより2,800万円程度の増を見込んでおります。

一方、法人市民税につきましては、市内の法人の経営状況及び1号法人で赤字決算が想定されることから、法人市民税全体では1億4,500万円程度の減を見込むなど、市税総額は、約103億円、対前年度比で1億1,000万円の減を見込んでおります。

普通交付税においては、3億6,300万円を計上し、対前年度比で2億円程度の増と見込んだところであります。

しかしながら、この増額については、平成19年度下水道事業特別会計当初予算において、平成16年度に資本費平準化債を発行したことにより普通交付税が1億1,300万円相当分、減額措置されていたことなどから、当初予算の増減比較では形式上、増加という表記になっているものであり、これらの要素を排除して比較すると、実質的には、2,500万円程度の減額になるものであります。

そのほか、総務省の示す増減率及び各制度における制度変更や制度拡充に伴う増減事由から推計し、以下の通り予算計上いたしました。

地方消費税交付金については、約4億8,000万円で、対前年度比で、1,800万円の減、株式等譲渡所得割交付金は株式市場の低迷もあり、前年度5,700万円計上していたものが、半分以上減額し、2,400万円の計上にとどめたところであります。

地方特例交付金については、平成20年度から、新たに住宅借入金等特別控除による市町村の減収分を補てんするための減収補てん特例交付金が創設されたことから、1億2,200万円を計上し、対前年度比で、2,600万円の増と見込んでおります。

一方、歳出面では、人件費は対前年度比0.7%、2,800万円程度の減、約39億3,000万円となり、平成20年度の歳出に占める割合は、23.6%、約4分の1を占める状況となっております。

扶助費につきましては、総額で、約26億5,000万円、対前年度比で、3.6パーセントの増、金額で9,300万円程度の増となっております。

主な増要因であります。障害者自立支援に関する経費として7,000万円程度の増、乳児医療費・ひとり親家庭等医療費・重度心身障害者医療費の窓口払い廃止に伴い、福祉三医療で総額6,200万円程度の増などがあります。

公債費につきましては、約17億2,000万円を計上しております。これは、平成16年度及び17年度に借り入れた臨時財政対策債の元金償還が始まったため、約1,900万円の増額と見込んだものであります。

このことから、義務的経費は、約83億円となり、対前年度比で、8,400万円程度の増であり、歳出に占める割合は49.9パーセント、約2分の1を占める状況となっております。

また、性質別経費では、実質的には、その経費の大半が人件費であり、義務的経費に計上されるべきである朝霞地区一部事務組合の消防負担金であります。最新の高性能消防指令システムを整備更新することから、2,000万円程度増額の、約7億2,000万円負担金を支出いたします。

現状では、補助費等に区分されており、朝霞地区一部事務組合の消防負担金については、歳出全体の4.3パーセントを占めております。

さらに、補助費等では、新たに後期高齢者医療事務に要する経費として、約3億円を見込んだことと、本市の1号法人で赤字決算が想定されることから、平成20年度において、必要な金額を償還金として見込んでいるところであります。

物件費については、総額で約29億3,000万円、対前年度比、1億円程度の増となっており、全体的に、安心・安全な街づくりに向けた生活重視の予算計上となっております。

まず、市有建築物全体の中長期的な耐震性能や劣化状況を調査し、市有建築物耐震化等改修促進計画を策定する経費として、約2,500万円を計上しております。

また、市が管理する6本の道路橋りょうについて、平成21年度に「志木市道路橋りょう安心安全化計画」を策定し、計画的に耐震補強工事を実施する予定でありますことから、平成20年度には、詳細点検調査や耐震診断を行うため、約800万円を計上しております。

加えて、耐震化については、平成21年度の耐震補強等工事に向けて、宗岡第二小学校及び志木第二中学校校舎の耐震診断や耐震補強等工事設計に、約4,500万円を計上しております。

あわせて、今後の庁舎の耐震化について具体的な計画化に向けて、検討をするための庁舎耐震化整備事業に約680万円を計上するなど、安心・安全な街づくりに向けた生活重視の予算計上となっております。

さらに、児童の個性や豊かな人間性を育むための教育環境を充実する事業として、志木市独自の少人数学級編制に、18名の教員を確保するため、約6,000万円を計上しております。

また、妊婦の健康管理の向上を図る経費として、約2,600万円を計上し、妊婦健康診査の公費負担の回数を2回から5回に拡充するとともに、C型肝炎検査や子宮頸がん検診を行うなど、検査項目の充実も図っております。

あわせて、国の麻しん排除計画に基づき、中学1年生及び高校3年生に相当する年齢の方を麻しん予防接種の対象として加えた経費として、約1,400万円を計上しております。

次に、投資的経費であります普通建設事業費については、前年度の約4億8,000万円から新年度は約7億1,000万円と、対前年度比48.3パーセント、2億3,000万円程度の増で、性質別経費の中では、一番高い伸びを示し、市民生活の安心・安全を確保する事業に集中的に予算を計上したところであります。

まず、3年目を迎えます「歩車道分離5か年計画」については、市道3路線分の整備事業費のほか、中央通停車場線及び久保秋ヶ瀬線の拡幅整備を推進する費用として、約1億2,700万円を計上いたしました。

また、志木中学校増築工事に約1億3,400万円を計上し、生徒たちの教育環境の整備充実を図るとともに、平成19年度に策定した「スポーツ振興計画」を確実に推進するため、平成20年度予算においては、学校開放により市民に広く活用されている、宗岡第四小学校の校庭を快適なスポーツ環境に整備するための費用として、1,400万円を計上しております。

旧市民プール跡地については、埋蔵文化財の管理施設移転用地として有効活用するため、初年度は、整地及び発掘調査費用やフェンス設置工事費として、あわせて約2,600万円を見込んでおります。

なお、今回の予算を編成するにあたりまして、財政調整基金から、約11億7,000万円を取り崩し、収支の均衡を図ったところであります。

この結果、平成20年度予算は、「志木市行財政再生プラン」の着実な推進に努め、「安心・安全で、夢のある、明るい志木市」の実現に向けた施策・事業の「選択と集中」による予算の重点化を図り、「安心・安全で夢のある生活重視型予算」を編成できたものと考えております。

予算構造の変化

1 地方特例交付金

26,000千円

(単位：千円・%)

平成19年度	平成20年度	増減額	増減率(%)
96,000	122,000	26,000	27.1

地方特例交付金は、平成20年度から、新たに住宅借入金等特別控除による市町村の減収分を補てんするための減収補てん特例交付金が創設されたことにより、前年度に比べて2,600万円の増となっています。

2 地方交付税の改革

181,000千円

(1) 普通交付税

203,000千円

(単位：千円・%)

平成19年度	平成20年度	増減額	増減率(%)
160,000	363,000	203,000	126.9

(2) 臨時財政対策債

22,000千円

(単位：千円・%)

平成19年度	平成20年度	増減額	増減率(%)
610,000	588,000	22,000	3.6

3 歳入当初予算額推移

(単位：千円・%)

	市 税	普通交付税	臨時財政対策債	国・県支出金
平成18年度	9,361,288	350,000	680,000	1,579,638
平成19年度：A	10,424,327	160,000	610,000	1,817,242
平成20年度：B	10,314,155	363,000	588,000	1,899,742
増減額(B-A)：C	110,172	203,000	22,000	82,500
増減率C/A(%)	1.1	126.9	3.6	4.5

(1) 市税収入は、対前年度1億1,017万2千円(1.1%)減

《参考 市税予算額の推移》

(単位：千円・%)

年 度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
予算額	9,019,813	9,095,634	9,361,288	10,424,327	10,314,155
伸び率(%)	0.2	0.8	2.9	11.4	1.1

市税は1.1%の減となっておりますが、主な減要因は、一部主要法人の減益などによる法人市民税の減およそ1億4,500万円及び喫煙人口の減による市たばこ税の減およそ1,800万円です。

(2) 普通交付税は、対前年度2億300万円(126.9%)増

平成19年度予算においては、平成16年度に資本費平準化債を発行したことにより、普通交付税から1億1,300万円が減額措置されたことなどから、当初予算の増減比較では形式上、増加という表記になってはいますが、減要因を除き平成19年度予算と比較すると、実質的には、2,500万円程度の減額になっています。

4 歳出当初予算額推移

(単位：千円・%)

	人件費	扶助費	公債費	投資的経費
平成18年度	3,836,513	2,365,572	1,694,967	1,199,535
平成19年度：A	3,956,724	2,559,017	1,699,275	481,446
平成20年度：B	3,929,026	2,652,291	1,717,825	713,856
増減額(B-A)：C	27,698	93,274	18,550	232,410
増減率C/A(%)	0.7	3.6	1.1	48.3

平成20年度については、教育施設の整備をはじめ、子育て支援の充実や母子保健の充実、さらに、生活道路の整備をはじめとするインフラ整備など、「安心・安全で、夢のある、明るい志木市」の実現に向けた施策、事業の選択と集中による予算編成を行いました。

5 基金の活用

景気変動による大幅な税収減や災害の発生時など、予期し得ない収入減少や不時の支出増加等に備え、財源の年度間調整機能を果たす財政調整基金について、財政状況の変化や少子高齢化対策などを踏まえ、最終的な収支不足を補てんするため、11億7,226万7千円を取り崩しました。

《財政調整基金》

(単位：千円)

	前年度末残高	積立金	取り崩し額	当初残高
平成19年度：A	1,488,291	185	514,475	974,001
平成20年度(見込み)：B	1,984,075	863	1,172,267	812,671
増減額(B-A)	495,784	678	657,792	161,330

予算規模

1 一般会計 166億3,400万円 (前年度当初比 5.1%増)
(前年度158億2,900万円)

2 全会計合計(一般・特別・企業会計)
324億1,030万6千円(前年度当初比 4.1%減)
(前年度337億9,870万2千円)

参考 一般会計予算規模の推移(当初予算比)

年 度	1 6	1 7	1 8	1 9	2 0
予算額 (千円)	17,441,000 15,701,000	15,789,000	15,926,000	15,829,000	16,634,000
伸 び 率 (%)	7.6 3.1	9.5 0.6	0.9	0.6	5.1

特殊要因(平成16年度の減税補てん債借換債)を除いた場合

**あらゆる行政施策に安心・安全の思想を貫きます。
将来に夢を持てる施策を推進します。
持続可能な自治改革を推進します。**

災害に強い街づくり！

庁舎耐震化整備事業

6,820 千円

庁舎の老朽化や耐震性能が不足しているなどの諸問題に対し、最良の整備方針を策定し、耐震化整備を実施することにより、安全で安定した市民サービスの提供や災害時の防災拠点としての庁舎機能を確保します。

市有建築物耐震化等改修促進計画策定事業

24,950 千円

市有建築物の耐震性能、劣化状況を調査し、市有建築物全体の中長期耐震化等改修促進計画を策定することにより、適切な施設維持管理を実施します。なお、平成20年度は市有建築物のうち、24施設を対象とし、学校や保育施設については、平成21年度に実施する予定です。

自主防災組織支援事業

4,881 千円

地震等大規模な災害が発生した場合、地域住民による組織的で有機的な防災活動が大きな威力を発揮することから、町内会単位による自主防災組織を設立・育成し、防災力を強化することにより、本市の『災害に強い街づくり』につなげます。

地域消防力整備向上事業

14,161 千円

安心・安全な街づくりを推進し、地域消防力の向上を図るため、志木市消防団第3分団の消防ポンプ車両を最新装備搭載の車両に更新します。

道路橋りょう安心安全化計画策定事業

8,200 千円

志木市で管理する延長15m以上の道路橋りょう6橋の詳細点検を行った結果を電子データ化し、今後の修繕、架け替え等の計画を策定する際のライフサイクルコストの抑制や、災害時の安全確保を図ります。

～安心・安全な道路空間整備事業～

歩車道分離事業

127,360 千円

歩車道分離 5 か年計画の 3 年目として、市道第 2 1 2 5 号線、市道第 2 0 7 4 号線の道路改良事業及び市道第 2 1 3 0 号線の歩道と車道を分離する整備事業に着手するとともに、今後、計画的に事業を進めるため、用地取得並びに測量等を行います。

また、中央通停車場線（第 2 工区）及び久保秋ヶ瀬線の拡幅整備を推進する費用を負担することにより、歩車道を分離し、歩行者の安全確保と交通事故の防止を図ります。

道路冠水防止事業

25,000 千円

志木ニュータウン地内の市道第 1 0 0 1 号線の道路排水施設は、設備が老朽化し改修が必要な状況であり、この施設が機能しなくなると、道路冠水による通行止めや隣接する建物の地下駐車場への浸水も考えられることから、設備を改修し、降雨時でも利用者が安心して通行できるようにします。

未来ある子どもたちへの快適な教育環境づくり！

～子どもたちを地震災害などから守るために～

志木中学校及び宗岡中学校校舎耐震補強等事業

610,600 千円

（平成 1 9 年度繰越事業）

学校施設は、生徒の学習の場であり、かつ、生活の場でもあることから、地震災害から生徒の生命と財産を守るため、志木中学校及び宗岡中学校の校舎の耐震補強等工事を実施するとともに、志木中学校については、生徒数の増加に対応するため、給食室の改修工事を実施します。

宗岡第二小学校校舎耐震診断及び耐震補強等設計業務委託事業

27,700 千円

学校施設は、児童の学習の場であり、かつ、生活の場でもあることから、宗岡第二小学校校舎の耐震化に必要な診断及び補強等工事設計を実施し、地震災害から児童の生命と財産を守ります。

志木第二中学校校舎耐震補強等設計業務委託事業

17,300 千円

学校施設は、生徒の学習の場であり、かつ、生活の場でもあることから、志木第二中学校校舎の耐震補強等工事設計を実施し、地震災害から生徒の生命と財産を守ります。

志木第四小学校・宗岡第四小学校防火シャッター改修工事

3,609 千円

児童の学習の場でもあり、災害時の避難場所でもある学校施設・設備の安全性を確保するため、自動停止装置が整備されていない防火シャッターを改修し、児童等の事故を未然に防止します。

自動体外式除細動器（AED）設置事業

585 千円

小学校におけるスポーツ活動中の心室細動等に対処し、児童の生命を守るため、救急救命対策の一環として設置します。

～子どもたちが充実した教育環境で学べる環境整備について～

志木中学校校舎増築事業

133,700 千円

地域の開発に伴い、生徒数が増加する志木中学校に、3教室と相談室の増築工事を実施し、教育環境の充実を図ります。

大自然の中で子ども達の夢を^{はぐく}む少年自然の家改修事業

13,268千円

八ヶ岳少年自然の家における屋根、ベランダの施設改修を計画的に推進し、利用者への安心・安全をモットーとした運営を目指します。

志木第三小学校プール塗装工事

1,881 千円

学校プール施設は、教育課程の泳力習得と体力向上に必要なものであり、災害時の貯水施設としての機能も有していることから、志木第三小学校のプールを安全に利用していただける施設となるように整備します。

～教育サポートセンターの教育支援事業について～

小学校への教育サポートセンター相談員派遣事業

2,018 千円

従来派遣していなかった小学校に臨床心理士の資格を持つカウンセラー（相談員）を定期的に派遣し、早期段階での不登校児童対策を図ります。

『不登校ゼロ』を目指すホームスタディー制度

722 千円

長期欠席の状態にある児童生徒の学習を、学校以外の場でも保障していく個別学習支援制度です。一人ひとりに応じた、きめ細かな支援により、子どもたちが学校や教室に復帰するためのきっかけをつくります。

特別支援教育プログラム事業

4,607 千円

通常学級に在籍する発達障がい等で特別な支援が必要な子どもたちに、専門家チームの意見を聞きながら、個別に教育的支援を実施します。また、特別支援教育の実践方法等を巡回指導を通して学校に普及させます。

～子どもたちを犯罪から守るために～

学校巡回パトロール

2,522 千円

小中学校の児童・生徒を不審者等から守り、安心して学校生活を送れるよう、地域主体のボランティア「学校巡回パトロール員」を市内小中学校に配置し、児童・生徒の安全を確保します。

学校警備委託事業

9,975 千円

子どもたちを標的とした凶悪犯罪が多発しているため、民間委託による警備員を市内12小・中学校全てに配置し、子どもたちを不審者等から守り、地域全体が安心して子どもたちを育てるようになるため、警備委託を実施します。

～子どもたちへ充実した教育を～

志木市独自の少人数学級編制（ハタザクラブラン）

59,876 千円

きめ細かな指導で、小1問題を払拭し、児童の豊かな人間性を育てよう、小学校1年生から3年生までの学級児童数を25人から28人程度の少人数学級編制を行います。これによる学級増に対応するため、18人の市費常勤講師（ハタザクラブ教員）を採用します。

学校特色化推進事業

15,920 千円

各学校が、地域や児童・生徒の実態に応じて、特色ある教育活動を通して、基礎学力の向上を図ったり、豊かな心を醸成したりするための人材を配置します。

中学生のつばさ事業

1,269 千円

現在、アメリカ合衆国オハイオ州ワシントン・コート・ハウス市と中学生の相互派遣交流を行っています。平成20年度は、市内中学校15人程度を派遣し、ホームステイを通して、同世代の子どもたちと交流しながら、異文化に触れ、国際感覚、国際理解を深め、地域社会に貢献できる人材の育成を目指します。

進路指導の充実支援事業

1,155 千円

中学校3年生を対象に中学校長会学力検査を実施し、生徒一人ひとりに自らの学力を把握させ、進路選択に向けた学習の改善充実を促します。また、蓄積したデータを基に適切な学習指導と進路相談を行うなど、生徒・保護者に信頼される進路指導を実現します。

～子どもたちの食の安心・安全のために～

志木中学校給食備品整備事業

11,067 千円

生徒数の増加に見合った給食備品を整備することにより、魅力ある多彩な献立構成が可能になるとともに、衛生管理や安全性について配慮したより安心して安全な学校給食の提供を図ります。

宗岡第二小学校給食調理業務委託事業

17,200 千円

民間業者のノウハウを取り入れることにより、経費節減を図りながら、これまでと変わらない手づくりのおいしい、そして、安心して安全な学校給食を子どもたちに提供するため実施します。

のびのび子育て支援体制づくり！

育児支援家庭訪問事業

1,356 千円

児童の養育支援が必要にもかかわらず、自ら支援を求めていくことができない家庭に対して、助産師・保健師・ヘルパー等が家庭訪問し、育児指導・家事援助等を行い、家庭での安定した養育が可能となるよう支援を行います。

(仮称) 志木子育てサロン運営事業

1,675 千円

マルイファミリー志木の6階のベビー休憩室内の一部に気軽に立ち寄ることができる子育て支援拠点施設を週3日開設し、子育て親子の交流や子育て情報の提供及び保育士が子育ての不安や悩みの相談に応じることで育児不安の解消、予防を図ります。

宗岡子育て支援センター管理運営事業

12,499 千円

総合福祉センター内に子育て支援拠点施設として、原則として、毎日開設し、子育て親子の交流や子育て情報の提供及び保育士が子育ての不安や悩みの相談に応じることで育児不安の解消、予防を図ります。また、隣接する児童センターと連携を図りながら、異世代間の交流も実施します。

いろは子育て支援センター管理運営事業

17,509 千円

子育て支援拠点施設として、いろは保育園の2階において、子育てに関する、より専門性の高い講座を開設するとともに、子育て親子の交流や子育て情報の提供及び保育士が子育ての不安や悩みの相談に応じることで育児不安の解消、予防を図ります。

西原子育て支援センター管理運営事業

15,814 千円

西原保育園の2階に子育て支援拠点施設として、NPO法人の運営による子育て親子の交流や子育て情報の提供及び保育士が子育ての不安や悩みの相談に応じることで育児不安の解消、予防を図ります。

児童センター管理運営事業

20,239 千円

児童の自主性、社会性及び創造性を高めるとともに関係機関と連携し、地域における子育て支援・子ども育成を図るため指定管理者を指定して管理・運営を効果的に行います。

すくすく赤ちゃん支援体制づくり！**妊婦健康診査拡充事業**

26,374 千円

少子化対策の一環として、妊婦健康診査の公費負担を2回から5回に拡充し、健康診査に係る経済的負担の軽減を図るとともに、妊婦の健康管理の向上を図ります。

新生児・未熟児訪問指導事業

2,907 千円

新生児・未熟児のいる家庭を保健師、助産師等が訪問し、適切な養育指導を行うことにより、子どもの健やかな成長を支援します。

心身いきいき健康づくり！**「こころの安全週間」啓発事業**

1,658 千円

我が国の平成18年の自殺者は29,921人、埼玉県で1,452人、志木市では9人となっております。自殺は、防ぐことのできる社会的な問題であるといわれ、多くの自殺は、自殺に至る前のうつ病等の精神疾患に対する適切な治療により防ぐことが可能と考えられております。こうした状況を踏まえ、志木市では、全国に先駆け、5月12日から18日までを「こころの安全週間」と位置づけ、「こころの安全」の重要性と、現実的なうつ病等との関わりを理解してもらう事業を展開します。

特定健診・特定保健指導事業

77,539 千円

平成20年度からすべての医療保険者に義務づけられる事業で、平成19年度に策定した「志木市特定健康診査・特定保健指導実施計画」で定めた特定健診等の数値目標に従って取り組んでいくこととなります。平成20年度の具体的数値として、健診受診率40%、保健指導実施率20%としており、対象となる40歳以上75歳未満の国民健康保険被保険者を13,500人と見込んだ場合、健診受診者を5,400人、そのうち保健指導では270人が該当になると見込んでおります。市民の身体面の安心・安全づくりに欠かせない保健事業と捉え、全市を挙げて取り組んでいく必要があると考えております。なお、本事業の数値目標の達成状況により、後期高齢者医療支援金が10%の範囲内で加算・減算される仕組みとなっております。

快適なスポーツ環境の振興整備事業

13,808 千円

スポーツ振興計画の実現に向けて、学校開放により、広く市民に活用されている宗岡第四小学校の校庭を快適なスポーツ環境に整備します。

宗岡第四小学校プールサイドリニューアル事業

2,500 千円

健康維持と体力向上に効果的なスポーツである水泳を楽しんでいただけるよう、宗岡第四小学校のプールを市民に一般開放していることから、快適に使用していただけるようプールサイドのリニューアルを行います。

なお、学校のプールは災害時の貯水施設としての機能も有しています。

いろは健康21プラン見直し事業

3,245 千円

平成20年度を目標年度として策定した、「市町村健康増進計画」である本プランの進捗状況の評価と計画の見直しと次期計画の策定を行い、本プランに基づき地域全体で多様な健康づくり活動に取り組むことにより、健全な地域社会の形成を目指します。

麻しん予防接種拡充事業

13,527 千円

国の麻しん排除計画に基づき、中学1年生及び高校3年生に相当する年齢の者を麻しん予防接種の対象者として加え、5年間の時限措置として実施するもので、麻しんの発生及び流行の防止を強化し、麻しんの予防に努めます。

路上喫煙防止活動の推進事業

5,198 千円

朝霞地区四市共同でスタートし、3年目を迎える路上喫煙防止事業は、20年度に志木駅東口及び柳瀬川駅周辺路上喫煙禁止区域の拡大を検討いたします。

市民病院が実施する地域に根ざした医療体制づくり！ 市民病院事業会計

(仮称)総合健診センター整備事業 184,088 千円

市民の健康面での安心・安全づくりを実現するため、現在の保健センターをリニューアルし、平成21年度にスタートする(仮称)総合健診センターを整備します。

小児救急医療地域連携事業 3,120 千円

地域の安心・安全な小児救急医療を提供するため、市民病院と朝霞地区医師会との連携を図り、市民病院において、小児の初期救急医療を提供します。

特色ある特定保健指導事業 795 千円

生活習慣病などの対象者に適切な保健指導を行うとともに、市民病院の個性を活かした独自の特色ある特定保健指導を実施します。

(仮称)志木市地域医療計画策定事業 319 千円

市民病院が志木市の医療政策の立案・実施の役割を担い、市民の視点による安心・安全で質の高い医療が受けられる体制を構築するため、脳卒中、急性心筋梗塞、がん、糖尿病の4疾病について、医療機関の所在地や機能の周知、発症時から回復期までの切れ目のない医療情報や、今後の医療政策の方向性などを提供する志木市版の地域医療計画を策定します。

小児救急医療体制の充実 106,358 千円

小児科医師の確保が困難な状況下において、小児救急医療の中核病院としての役割を果たすため、小児科の常勤医師と非常勤医師の確保に努め、第二次救急医療機関として地域における安心・安全な小児救急医療体制の充実を図ります。

リハビリテーション拡充事業 1,513 千円

より一層のリハビリニーズに対応するため、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士の連携によるリハビリテーション事業を展開します。

情報発信・共有ツール拡充事業 426 千円

市民病院の運営等に関する情報を積極的に発信するため、情報発信媒体であるホームページを一層活用するとともに、院内掲示板によるタイムリーな情報提供を行います。

地域ぐるみのコミュニティづくり！

市民協働運営会議「市民協働の住みよいまちづくりシンポジウム」 の開催

319 千円

現在、市民協働運営会議の分科会において、調査・研究を進めている自主テーマについて、シンポジウムを開催し、第1期3年間の活動成果を広く市民に公表し、持続可能な市民との協働によるまちづくりの実現に向けた提案等を行います。

多目的公共施設用地買い戻し事業

297,690 千円

西原特定区画整理区域内の、健康増進と地域保健の機能を有する拠点施設と地域コミュニティーの拠点となる施設の融合した複合的施設の建設予定地である、多目的公共施設用地（1,233.77㎡）を志木市土地開発公社から買い戻します。

ホームタウン地域活動事業（団塊世代のインターンシップ）

11 千円

定年退職前後のシニア世代（団塊の世代）の皆さんに、退職後、地域にスムーズに入っていけるように、ボランティアやNPO団体活動等のインターンシップ体験を通して、地域に溶け込みやすい環境づくりを図ります。

地球への思いやりあふれる環境づくり！

緑のカーテン事業

481 千円

市内小中学校各1校をモデル校に選定し、緑のカーテンとして、つる植物によるカーテンにより日陰をつくる緑化を行い、教室の温度を下げる取り組みをし、地球温暖化対策と同時に環境体験を通じた環境教育を行います。

環境基本計画の見直し事業

320 千円

平成11年に策定された環境基本計画が平成20年度で10年を経過し、計画の終期を迎えることから、見直しを行います。この見直し事業は、市民、事業者等で構成する環境市民会議が中心となり、庁内検討会議等を経たうえで、最終的に市民に分かりやすい計画策定を行うこととなります。

高齢者が元気で安心して暮らせるために！

地域包括支援センター機能拡充事業 3,054 千円

地域包括支援センターシステムを構築・導入することにより、市との連携をさらに深め、的確な介護予防ケアマネジメントや総合相談など、更なる高齢者の支援を行います。

介護保険事業計画及び高齢者保健福祉計画策定 6,430 千円

平成21年度から3か年の介護保険事業計画及び高齢者保健福祉計画を策定し、介護予防施策や高齢者対策を実施していきます。

介護予防推進事業 1,058 千円

要介護状態になることを防ぐため、日頃から誰でも知っている曲に合わせて、ストレッチや筋トレ効果のある、いろはカッピー体操を行うことにより、介護予防意識の高揚と健康増進を図ります。

やさしさあふれる障がい者福祉の充実のために！

総合福祉センター管理運営事業 40,985 千円

地域における福祉活動を推進し、総合的な福祉と教育の地域拠点となるよう、指定管理者を指定して複合施設の一体管理・運営を効果的に行います。

日中一時介護者支援事業 92 千円

介護者の通院や冠婚葬祭等により障がい者を介護できないときに、施設等で障がい者を一時的に預かり、介護者の負担を軽減します。

視覚障がい者のための情報バリアフリー推進事業 300 千円

文字情報が記録されたコードを読み取る機械（視覚障害者用活字文書読み上げ装置）を購入し、公共施設に設置することで視覚障がい者のための情報バリアフリーを推進します。

障がい者の職場体験事業

職場で働く機会がない障がい者を、職場体験実習として、市役所で受け入れ、障がい者の社会参加や就労意欲の促進を図り、あわせて、市職員の障がいや障がい者への理解を深めます。

特別支援助成事業

132 千円

特別支援学校に通う障がい児の学童クラブ(たけのこクラブ)に対して、補助を行います。

活気輝く商工農業推進体制づくり!**起業者・創業者支援事業**

160 千円

起業者マインドの掘り起こしに資するため「創業支援セミナー」を実施するとともに、今後想定される施策についての研究を行います。

団塊世代に対する就労・創業支援事業

70 千円

意欲と技術を備えた有用な人材が地域で就労や創業ができるよう「支援セミナー」を開催します。

安心・安全 志木ブランド認証事業

15 千円

食の安心・安全を確保するとともに、地産地消を推進し、特産品の販売競争力強化のための地域ブランドの基となる「推奨・認証制度」を創設するための調査、研究を行います。

誰もが住みやすい生活基盤整備づくり!**~ 計画策定 ~****道路橋りょう安心安全化計画策定事業(再掲)**

8,200 千円

志木市で管理する延長15m以上の道路橋りょう6橋の詳細点検を行った結果を電子データ化し、今後の修繕、架け替え等の計画を策定する際のライフサイクルコストの抑制や、災害時の安全確保を図ります。

景観計画策定事業

225 千円

志木市がもっている景観の特性や資源を踏まえて、「志木市らしさ」を景観法に基づく景観計画に定めます。この計画に従ってまちづくりを進め、景観上重要な建造物や樹木の指定、行為の規制などにより、良好な景観を次世代へつないでいきます。

都市計画マスタープラン見直し事業

3,476 千円

本市の都市計画に関する基本的な方針は、平成12年3月に策定されて以来、8年が経過する中で、関係法制、土地利用の変化、都市計画事業の進展、これらの計画を取巻く情勢の変化に対応するため、平成19年度の見直し業務に引き続き、平成20年度においても見直しを行います。

～ 快適な都市基盤を整備するために～

道路冠水防止事業(再掲)

25,000 千円

志木ニュータウン地内の市道第1001号線の道路排水施設は、設備が老朽化し改修が必要な状況であり、この施設が機能しなくなると、道路冠水による通行止めや隣接する建物の地下駐車場への浸水も考えられることから、設備を改修し、降雨時でも利用者が安心して通行できるようにします。

志木中継ポンプ場設備機器等更新事業

28,881 千円

設備機器の更新にあたり、設計、更新工事及び維持管理業務について、民間事業者の経営能力、技術力を活用し、一括発注、複数年契約を行うことで、更新期間中はもとより更新後も安心、安全な運転とコスト縮減を図ります。

老朽管対策事業

209,415 千円

平成19年度末でまだ布設替えが終了していない約9.1kmの石綿セメント管について、アスベスト問題や耐震性を考慮し、さらにライフラインとしての水道水の安心・安定供給を確保するため、平成23年度を目途に更新している事業です。

なお、平成20年度布設替えの予定延長は3.1kmです。

公共下水道整備事業(雨水)

90,185 千円

整備することで、降雨時における浸水被害の軽減及びヘドロ等の堆積を防止し、住環境の向上を図ります。

いにしえ

古の心をつなぐ文化の薫りあふれる街づくり!

**郷土の歴史的遺産を保管・展示する施設整備事業
(埋蔵文化財保管施設整備事業)**

26,485 千円

平成21年度を目途に旧市民プール跡地に出土品の活用を前提に保管庫として整備し、整理・復原作業、土器の展示を通して学習ができるなど、子どもたちが郷土の歴史と文化を肌で感じることができる施設を整備します。

市内遺跡埋蔵文化財保存業務受託事業

61,317 千円

平成19年度まで志木市遺跡調査会が実施してきた個人専用住宅建設以外の開発による埋蔵文化財の発掘調査及び整理作業の実施、調査報告書の作成を行います。

行政効果の向上に向けて！

（仮称）徴収Gメン設置事業

4,111 千円

市税等の収納率向上を図るため、電話催告を中心とした専門チームを設置し、滞納整理を早期に着手します。

いつでもどこでも市公式モバイルサイト事業

1,290 千円

携帯電話向けサイト（モバイルサイト）を新たに構築し、パソコンサイトに掲載している内容のほか、モバイル専用コーナーなど独自のメニューも設置・掲載します。さらに、新着情報や緊急情報などを定期的に配信する「メール配信サービス」を行い、まさに「いつでも、どこでも」市からの情報を享受できる情報発信システムを新たに構築することで、「災害に強い街づくり」、「安心で安全な街づくり」の重要ツールとします。

電子マネー導入推進事業

882 千円

電子マネーによる少額決済が社会的に普及している状況を鑑み、市内公共施設での市民サービスの向上を図るため、本年4月から市民体育館でのICカードによる料金収納を導入してまいります。

これにより、スイカやパスモなどのICカードがあれば、わざわざ小銭を持ち歩かなくて済むため、一層、利用者の利便性が高まるものと思われます。今後、市民体育館での利用状況を踏まえ、柳瀬川駅前の自転車駐車場など導入施設の拡大を検討してまいります。

電子入札共同システム参加事業

3,930 千円

従来、紙で行われていた「発注情報の公告から入札・開札・結果公開」までの一連の入札業務を電子化し、インターネットを利用して行えるようにした電子入札共同システムに参加することにより、安全かつ公正に入札事務を行います。

みんなが手に取って見たくなる広報しき刷新事業

18,968 千円

表紙フルカラー、本文2色刷とするほか、掲載内容等についても全面的に見直しを図り、より多くの市民に手に取って読んでもらえるような「明るく、見やすい広報紙」を目指します。

欲しい情報にすぐつながるホームページリニューアル事業

2,625千円

ユーザーの視点に立ち、公式ホームページの全面的見直しを図り、これまで以上に使いやすく、分かりやすいホームページを目指します。

～その他～

市営中野団地大規模修繕事業

22,000 千円

市営中野団地は建設後 21 年が経過し、建物の経年劣化による不具合等が発生していることから、入居者の安全を確保し、建物の適正管理を図るため、屋根防水、外壁改修及び設備配管等の大規模な修繕工事を実施します。

開発に伴うゆとりのある公園整備のための街づくり事業

民間の大規模な開発では、法に基づき開発者が公園等の整備をする必要があります。ところが、開発面積によっては非常に小さな公園となり、利用も管理も問題となるため、法で定められた限度まで広くするように条例を定めて基準を強化します。

建築基準法に基づく道路情報の公開事業

平成 19 年の建築基準法の改正に伴い、この法に基づく道路の指定状況を全国統一の書式によって一般に公開できるようにするものです。指定道路図及び指定道路調書を作成して平成 22 年 4 月に公開します。

生活道路整備に伴う緊急車両通行路確保事業

11,800 千円

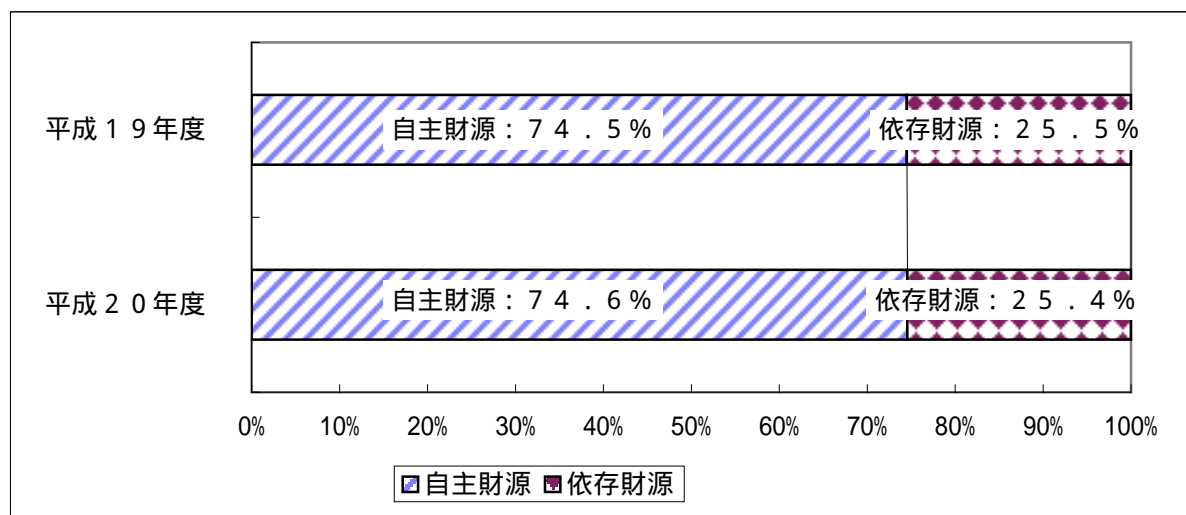
建築基準法第 42 条第 2 項の規定による住居の新築や建て替えの際の建築後退部分及び現在借地している道路用地を所有者の申し出により道路用地として購入することにより、道路幅員 4 m を確保し、狭隘道路でも緊急車両の進入が可能となるようにします。

平成20年度一般会計の概要

1 歳入

(単位：千円・%)

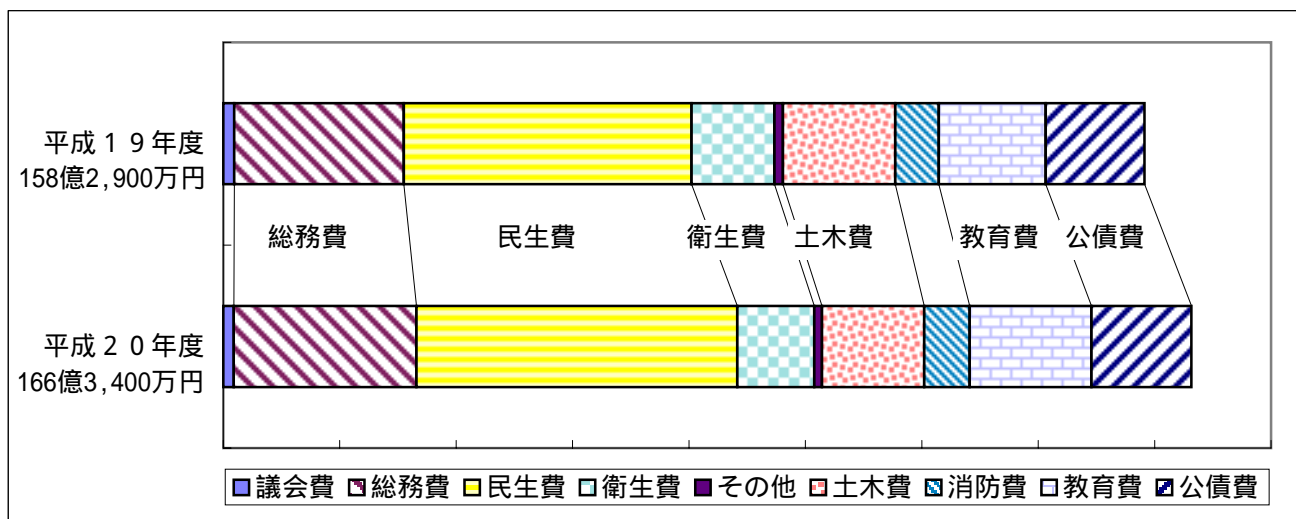
項目	平成20年度	平成19年度	増減額	増減率
予算規模 A	16,634,000	15,829,000	805,000	5.1
市税	10,314,155	10,424,327	110,172	1.1
分担金及び負担金	213,842	298,575	84,733	28.4
使用料及び手数料	161,702	170,664	8,962	5.3
財産収入	5,206	3,182	2,024	63.6
寄附金	11	11	0	0.0
繰入金	1,267,835	578,463	689,372	119.2
繰越金	250,000	200,000	50,000	25.0
諸収入	188,807	117,336	71,471	60.9
自主財源計 B	12,401,558	11,792,558	609,000	5.2
地方譲与税	140,000	138,000	2,000	1.4
利子割交付金	58,000	40,000	18,000	45.0
配当割交付金	41,000	49,000	8,000	16.3
株式等譲渡所得割交付金	24,000	57,000	33,000	57.9
ゴルフ場利用税交付金	5,600	5,600	0	0.0
地方消費税交付金	481,000	499,000	18,000	3.6
自動車取得税交付金	112,000	121,000	9,000	7.4
地方特例交付金	122,000	96,000	26,000	27.1
地方交付税	643,000	400,000	243,000	60.8
交通安全対策特別交付金	9,000	9,000	0	0.0
国庫支出金	1,206,359	1,167,112	39,247	3.4
県支出金	693,383	650,130	43,253	6.7
市債	697,100	804,600	107,500	13.4
依存財源計	4,232,442	4,036,442	196,000	4.9
自主財源比率 B / A (%)	74.6	74.5		



2 歳出目的別

(単位：千円・%)

目的別	平成20年度		平成19年度		増減比較	
	予算額	構成比	予算額	構成比	増減額	増減率
議会費	179,146	1.1	186,478	1.2	7,332	3.9
総務費	3,139,901	18.9	2,914,096	18.4	225,805	7.7
民生費	5,511,752	33.1	4,943,928	31.2	567,824	11.5
衛生費	1,323,037	7.9	1,425,533	9.0	102,496	7.2
労働費	19,135	0.1	20,458	0.1	1,323	6.5
農林水産業費	38,338	0.2	38,486	0.2	148	0.4
商工費	44,319	0.3	56,134	0.4	11,815	21.0
土木費	1,757,703	10.6	1,929,391	12.3	171,688	8.9
消防費	778,390	4.7	746,490	4.7	31,900	4.3
教育費	2,094,454	12.6	1,838,731	11.6	255,723	13.9
公債費	1,717,825	10.3	1,699,275	10.7	18,550	1.1
予備費	30,000	0.2	30,000	0.2	0	0.0
合計	16,634,000	100.0	15,829,000	100.0	805,000	5.1

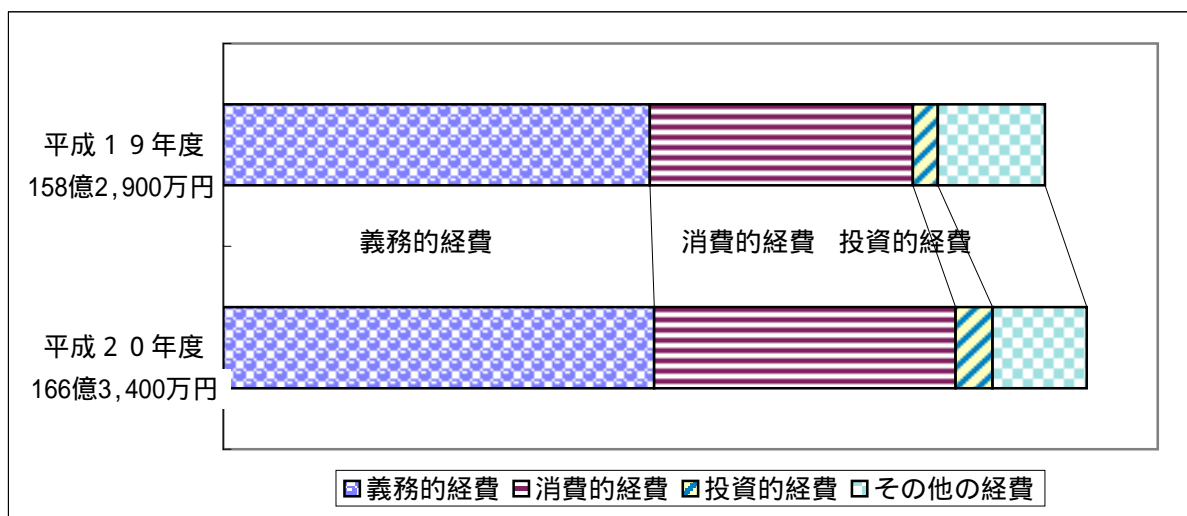


3 歳出性質別

(単位：千円・%)

性質別	平成20年度		平成19年度		増減比較		
	予算額	構成比	予算額	構成比	増減額	増減率	
義務的経費	人件費	3,929,026	23.6	3,956,724	25.0	27,698	0.7
	扶助費	2,652,291	16.0	2,559,017	16.2	93,274	3.6
	公債費	1,717,825	10.3	1,699,275	10.7	18,550	1.1
	計	8,299,142	49.9	8,215,016	51.9	84,126	1.0
消費的経費	物件費	2,928,555	17.6	2,831,448	17.9	97,107	3.4
	維持補修費	234,160	1.4	191,167	1.2	42,993	22.5
	補助費等	2,643,325	15.9	2,046,107	12.9	597,218	29.2
	計	5,806,040	34.9	5,068,722	32.0	737,318	14.5
投資的経費	普通建設事業費 (補助事業)	0	0.0	0	0.0	0	
	普通建設事業費 (単独事業)	713,856	4.3	481,446	3.0	232,410	48.3
	計	713,856	4.3	481,446	3.0	232,410	48.3
その他の経費	貸付金	22,241	0.1	29,250	0.2	7,009	24.0
	投資及び出資金	3,700	0.0	0	0.0	3,700	皆増
	積立金	14,656	0.1	102,845	0.7	88,189	85.7
	繰出金	1,744,365	10.5	1,901,721	12.0	157,356	8.3
	予備費	30,000	0.2	30,000	0.2	0	0.0
	計	1,814,962	10.9	2,063,816	13.1	248,854	12.1
合計	16,634,000	100.0	15,829,000	100.0	805,000	5.1	

決算統計上、地方公営企業法が一部適用される市民病院への繰出金は、独立採算の原則により性質上「補助費等」に区分するとされていることから、19年度予算額及び20年度予算額を適正に見直し、修正させていただきました。



4 市債償還予定表（平成19年度借入分まで）

（単位：千円）

区 分	平成19年度末	平成20年度償還見込額			平成20年度末	平成21年度償還見込額			平成21年度末
	現在高見込額	元 金	利 子	計	現在高見込額	元 金	利 子	計	現在高見込額
一 般 会 計	14,534,928	1,463,573	244,311	1,707,884	13,071,355	1,480,265	221,203	1,701,468	11,591,090
総 務 費	1,343,672	196,531	26,874	223,405	1,147,141	190,916	23,011	213,927	956,225
民 生 費	295,059	49,295	7,895	57,190	245,764	48,240	6,097	54,337	197,524
土 木 費	2,554,946	417,910	58,373	476,283	2,137,036	380,503	46,661	427,164	1,756,533
消 防 費	26,199	5,383	268	5,651	20,816	5,960	213	6,173	14,856
教 育 費	2,673,095	307,309	37,497	344,806	2,365,786	326,642	37,973	364,615	2,039,144
減 税 補 て ん 債	2,472,960	248,389	29,122	277,511	2,224,571	261,844	26,259	288,103	1,962,727
臨 時 税 収 補 て ん 債	179,747	16,333	3,689	20,022	163,414	16,677	3,345	20,022	146,737
臨 時 財 政 対 策 債	4,989,250	222,423	80,593	303,016	4,766,827	249,483	77,644	327,127	4,517,344
志木駅東口地下駐車場 事 業 特 別 会 計	507,784	33,042	10,357	43,399	474,742	33,730	9,667	43,397	441,012
地下駐車場整備事業債	507,784	33,042	10,357	43,399	474,742	33,730	9,667	43,397	441,012
下 水 道 事 業 特 別 会 計	9,986,176	682,798	352,816	1,035,614	9,303,378	691,013	328,039	1,019,052	8,612,365
公 共 下 水 道 債	9,017,060	613,886	320,682	934,568	8,403,174	627,927	298,149	926,076	7,775,247
流 域 下 水 道 債	969,116	68,912	32,134	101,046	900,204	63,086	29,890	92,976	837,118
館第一排水ポンプ場 特 別 会 計	479,800	0	11,006	11,006	479,800	308	11,312	11,620	479,492
公 共 下 水 道 債	479,800	0	11,006	11,006	479,800	308	11,312	11,620	479,492
合 計	25,508,688	2,179,413	618,490	2,797,903	23,329,275	2,205,316	570,221	2,775,537	21,123,959

(単位：千円)

区 分	平成22年度償還見込額			平成22年度末 現在高見込額	平成23年度償還見込額			平成23年度末 現在高見込額	平成24年度償還見込額			平成24年度末 現在高見込額
	元 金	利 子	計		元 金	利 子	計		元 金	利 子	計	
一 般 会 計	1,374,782	192,462	1,567,244	10,216,308	1,317,468	166,564	1,484,032	8,898,840	1,177,270	144,295	1,321,565	7,721,570
総 務 費	176,998	19,139	196,137	779,227	149,603	15,424	165,027	629,624	147,769	12,416	160,185	481,855
民 生 費	50,091	4,246	54,337	147,433	38,390	2,524	40,914	109,043	26,414	1,590	28,004	82,629
土 木 費	254,787	36,660	291,447	1,501,746	215,218	29,559	244,777	1,286,528	181,583	24,576	206,159	1,104,945
消 防 費	5,997	152	6,149	8,859	3,432	98	3,530	5,427	572	69	641	4,855
教 育 費	314,521	31,969	346,490	1,724,623	298,532	26,361	324,893	1,426,091	232,408	21,657	254,065	1,193,683
減 税 補 て ん 債	267,854	23,200	291,054	1,694,873	270,975	20,080	291,055	1,423,898	274,133	16,922	291,055	1,149,765
臨 時 税 収 補 て ん 債	17,030	2,993	20,023	129,707	17,389	2,633	20,022	112,318	17,755	2,266	20,021	94,563
臨 時 財 政 対 策 債	287,504	74,103	361,607	4,229,840	323,929	69,885	393,814	3,905,911	296,636	64,799	361,435	3,609,275
志木駅東口地下駐車場 事業特別会計	34,434	8,964	43,398	406,578	35,151	8,246	43,397	371,427	35,885	7,513	43,398	335,542
地下駐車場整備事業債	34,434	8,964	43,398	406,578	35,151	8,246	43,397	371,427	35,885	7,513	43,398	335,542
下水道事業特別会計	674,745	303,140	977,885	7,937,620	653,194	278,239	931,433	7,284,426	633,066	253,324	886,390	6,651,360
公共下水道債	616,867	275,430	892,297	7,158,380	597,856	252,571	850,427	6,560,524	578,320	229,703	808,023	5,982,204
流域下水道債	57,878	27,710	85,588	779,240	55,338	25,668	81,006	723,902	54,746	23,621	78,367	669,156
館第一排水ポンプ場 特別会計	4,850	10,975	15,825	474,642	9,311	10,854	20,165	465,331	12,675	10,639	23,314	452,656
公共下水道債	4,850	10,975	15,825	474,642	9,311	10,854	20,165	465,331	12,675	10,639	23,314	452,656
合 計	2,088,811	515,541	2,604,352	19,035,148	2,015,124	463,903	2,479,027	17,020,024	1,858,896	415,771	2,274,667	15,161,128

平成20年度特別会計・企業会計の概要

1 特別会計

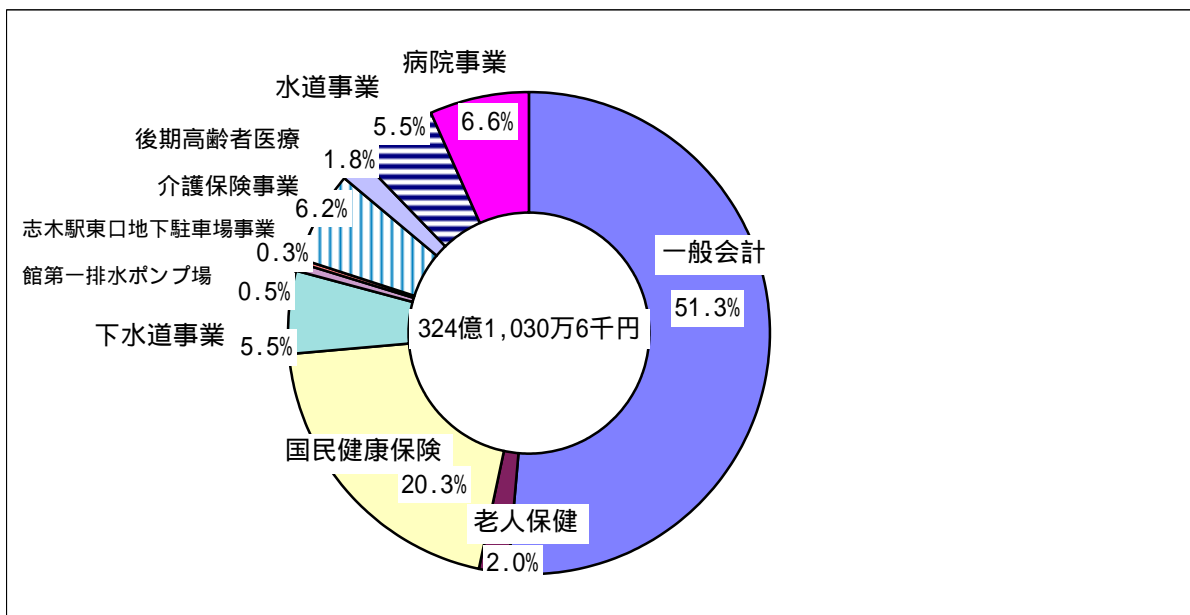
(単位：千円・%)

会計名称	平成20年度	平成19年度	増減額	増減率
老人保健	654,806	3,451,737	2,796,931	81.0
国民健康保険	6,592,084	6,252,320	339,764	5.4
下水道事業	1,791,400	1,826,000	34,600	1.9
館第一排水ポンプ場	147,300	732,000	584,700	79.9
志木駅東口地下駐車場事業	80,037	79,991	46	0.1
介護保険	2,010,918	1,809,993	200,925	11.1
後期高齢者医療	567,046	0	567,046	皆増
合計	11,843,591	14,152,041	2,308,450	16.3

2 企業会計

(単位：千円・%)

会計名称	平成20年度	平成19年度	増減額	増減率
水道事業	1,786,743	1,885,836	99,093	5.3
病院事業	2,145,972	1,931,825	214,147	11.1
合計	3,932,715	3,817,661	115,054	3.0



3 各会計への一般会計からの繰出状況

(単位：千円・%)

会計名称	平成20年度	平成19年度	増減額	増減率
老人保健	58,666	267,570	208,904	78.1
国民健康保険	380,000	380,000	0	0.0
下水道事業	851,089	866,364	15,275	1.8
館第一排水ポンプ場	76,378	127,474	51,096	40.1
介護保険	282,380	260,313	22,067	8.5
後期高齢者医療	95,852	0	95,852	皆増
病院事業	185,073	197,855	12,782	6.5
合計	1,929,438	2,099,576	170,138	8.1

平成20年度特別会計の概要

(単位：千円)

会計名称	予算額	本年度予算の主な内容			
老人保健	654,806	(歳入)		(歳出)	
		1 支払基金交付金	355,805	1 医療諸費	629,797
		2 国庫支出金	182,663	2 国県等支出金返還金等	15,009
		3 県支出金	45,667	3 予備費	10,000
		4 一般会計繰入金	58,666		
		5 繰越金	10,000		
		6 諸収入	2,005		
【予算の概要】					
<p>予算額は、歳入歳出とも6億5,480万6千円で前年度に比較して27億9,693万1千円、81.0%の減となっている。主な要因としては、平成20年度から老人保健制度に代わる後期高齢者医療制度に移行するため、平成20年度予算は、医療機関等から2か月遅れで請求される医療費を計上しているものである。</p>					
国民健康保険	6,592,084	1 国民健康保険税	2,144,330	1 総務費	46,874
		2 手数料	20	2 保険給付費	4,229,314
		3 国庫支出金	1,079,894	3 後期高齢者支援金等	902,303
		4 療養給付費等交付金	445,495	4 前期高齢者納付金等	2,337
		5 前期高齢者交付金	1,670,050	5 老人保健拠出金	313,748
		6 県支出金	263,423	6 介護納付金	323,950
		7 共同事業交付金	579,686	7 共同事業拠出金	611,183
		8 基金利子	2	8 保健事業費	100,464
		9 一般会計繰入金	380,000	9 基金積立金	5
		10 繰越金	20,010	10 公債費	1,600
		11 諸収入	9,174	11 保険税還付金等	10,306
		12 予備費	50,000		
【予算の概要】					
<p>予算額は、歳入歳出とも65億9,208万4千円で前年度に比較して3億3,976万4千円、5.4%の増となっている。主な要因としては、医療制度改革に伴う退職者医療制度の段階的な廃止による前期高齢者交付金の創設や医療費の増加、さらには特定健診・特定保健指導の保健事業費を新たに計上したことによるものであります。また、これまでの医療分及び介護分の保険税区分に後期高齢者医療制度への支援金分が加わるため、保険税率等の改正をし、編成をしたものであります。</p>					
下水道事業	1,791,400	1 国庫支出金	2,500	1 一般管理費	40,019
		2 受益者負担金等	6,542	2 維持管理費	423,749
		3 下水道使用料等	808,148	3 事業費	177,057
		4 一般会計繰入金	851,089	4 人件費	110,974
		5 繰越金	25,000	5 公債費	1,036,601
		6 諸収入	2,521	6 予備費	3,000
		(1)貸付金元利収入	2,500		
(2)その他	21				
		7 市債	95,600		
【予算の概要】					
<p>予算額は、歳入歳出とも17億9,140万円で前年度に比較して3,460万円、1.9%の減となっている。事業費の築造内容は、汚水として1工区(延長約100m)の整備、雨水について3工区(延長約535m)を整備するものである。</p>					

(単位:千円)

会計名称	予算額	本年度予算の主な内容			
館 第 一 排 水 ポ ン プ 場	147,300	(歳入)		(歳出)	
		1 財産収入	437	1 維持管理費	124,595
		2 一般会計繰入金	76,378	2 人件費	10,699
		3 繰越金	500	3 公債費	11,006
		4 諸収入 (1)受託事業収入 (新座市)	69,985 69,974	4 予備費	1,000
		(2)その他	11		
【予算の概要】 予算額は、歳入歳出とも1億4,730万円で前年度に比較して5億8,470万円、79.9%の減となっている。平成16年度より継続していた設備機器等更新工事を終え、維持操作・維持管理に包括的複数年民間委託を導入し、より安心・安全で効率的な維持管理を実施するものである。					
志 木 駅 東 口 地 下 駐 車 場 事 業	80,037	1 駐車場使用料	72,072	1 維持管理費	35,638
		2 基金利子	110	2 公債費	43,399
		3 管理基金繰入金	7,235	3 予備費	1,000
		4 繰越金	10		
		5 諸収入	610		
【予算の概要】 予算額は、歳入歳出とも8,003万7千円で前年度に比較して4万6千円、0.1%の増となっている。志木駅及び周辺施設等を利用する市民の利便性を図るとともに、周辺道路の良好な交通環境を確保するため、引き続き指定管理者による効率的な駐車場の管理運営を実施していくものである。					
介 護 保 険	2,010,918	1 介護保険料	456,977	1 総務費	26,697
		2 国庫支出金	366,193	2 保険給付費	1,920,068
		3 支払基金交付金	602,525	3 地域支援事業費	56,873
		4 県支出金	283,554	4 財政安定化基金拠出金	1
		5 財産収入	690	5 基金積立金	10
		6 繰入金 (1)一般会計繰入金	300,909 282,380	6 公債費	667
		(2)基金繰入金	18,529	7 諸支出金	5,602
		7 繰越金	10	8 予備費	1,000
8 諸収入	60				
【予算の概要】 予算額は、歳入歳出とも20億1,091万8千円で前年度に比較して2億92万5千円、11.1%の増となっている。主な要因としては、保険給付費や地域支援事業費の増によるもので、柏町3丁目に開所するグループホームや介護付有料老人ホームの保険給付費を見込むとともに、介護予防を推進していくものである。					
後 期 高 齢 者 医 療	567,046	1 後期高齢者医療保険料	471,188	1 総務費	7,599
		2 一般会計繰入金	95,852	2 広域連合納付金	539,445
		3 諸収入	6	3 諸支出金	2
				4 予備費	20,000
【予算の概要】 予算額は、歳入歳出とも5億6,704万6千円となっている。本会計は、平成20年度から老人保健制度に代わる後期高齢者医療制度を運営していくためのもので、歳入では、被保険者からの保険料及び保険基盤安定分等の一般会計からの繰入金であり、歳出は会計内事務費及び埼玉県後期高齢者医療広域連合への納付金等となっている。					

平成20年度志木市水道事業会計当初予算概要

収益の収入及び支出

(単位 千円)

区 分	予 算 額		比 較	伸 率 (%)	説 明
	20年度	19年度			
水道事業収益	1,313,092	1,313,003	89	0.0	
営業収益	1,303,618	1,310,585	6,967	0.5	水道料金 1,082,043 加入金 199,657 他
営業外収益	9,294	2,238	7,056	315.3	預金利息 9,101 不用品売却 173 他
特別利益	180	180	0	0.0	過年度損益修正益
水道事業費用	1,312,132	1,297,794	14,338	1.1	
営業費用	1,180,444	1,141,890	38,554	3.4	原水及び浄水費 544,742 配水及び給水費 125,810 総係費 122,604 減価償却費 386,529 他
営業外費用	119,948	121,672	1,724	1.4	企業債利息 104,927 支払消費税 15,021
特別損失	4,240	26,732	22,492	84.1	水道料金不納欠損 4,000 過年度損益修正損 240
予備費	7,500	7,500	0	0.0	
差 引	960	15,209	14,249		

資本的収入及び支出

区 分	予 算 額		比 較	伸 率 (%)	説 明
	20年度	19年度			
資本的収入	28,733	17,122	11,611	67.8	
補助金	21,900	10,000	11,900	119.0	国庫補助金
負担金	6,833	7,122	289	4.1	一般会計負担金(消火栓設置費) 5,768 工事負担金 1,065
資本的支出	474,611	588,042	113,431	19.3	
建設改良費	329,459	436,893	107,434	24.6	改良工事費 283,399 施設改良費 42,220 量水器費 3,840
企業債償還金	145,152	151,149	5,997	4.0	企業債元金
差 引	445,878	570,920	125,042		

資本的収入額が資本的支出額に対し不足する額445,878千円は、過年度分損益勘定留保資金290,374千円、減債積立金140,000千円及び当年度消費税及び地方消費税資本的収支調整額15,504千円で補てんするものとする。

(単位 千円)

年度	年度末企業 債残高	元 金	利 子	合 計
18	4,421,709	146,877	109,229	256,106
19	4,265,807	155,902	109,984	265,886
20	4,120,655	145,152	104,926	250,078
21	3,971,641	149,014	101,064	250,078

区 分	20年度	19年度
供給単価	146円40銭	147円13銭
給水原価	175円94銭	177円22銭
差 額	29円54銭	30円09銭

----- 給水収益
有収水量
----- 経常費用
有収水量

平成20年度 病院事業会計予算概要

《収益的収入及び支出》

(単位 千円)

区 分	20年度	19年度	比 較	伸率(%)	説 明	
病院事業収益	1,889,957	1,846,699	43,258	2.3		
1 医 業 収 益	1,817,603	1,768,253	49,350	2.8		
1 入 院 収 益	963,600	966,240	2,640	0.3	1日平均 80人 延 29,200人 @33,000	
2 外 来 収 益	644,625	592,920	51,705	8.7	1日平均 270人 延 98,550人 @6,500 他	
3 その他医業収益	209,378	209,093	285	0.1	市負担金(救急医療)140,000 室料差額及び公衆衛生活動収益等	
2 医業外収益	72,354	78,446	6,092	7.8		
1 補 助 金	9,118	9,757	639	6.5	県補助金	
2 負 担 金	18,067	22,914	4,847	21.2	市負担金(企業債償還金利息の一部(3,204)及び共済追加費用(14,863))	
3 その他医業外収益	45,169	45,775	606	1.3	預金利息、患者外給食、患者外寝具、指定居宅サービス介護(37,623)及びその他医業外収益	
病院事業費用	1,889,957	1,846,699	43,258	2.3		
1 医 業 費 用	1,872,135	1,819,715	52,420	2.9		
1 給 与 費	1,189,420	1,122,211	67,209	6.0	職員108人分及び非常勤医師報酬等	
2 材 料 費	241,439	261,439	20,000	7.6	薬品(120,000)及び診療材料費(120,126)等	
3 経 費 等	441,276	436,065	5,211	1.2	業務委託料(279,796)、医療機器賃借料(26,561)、減価償却費(51,034)等	
2 医業外費用	12,388	18,043	5,655	31.3		
1 支 払 利 息 等	5,769	10,955	5,186	47.3	企業債償還金利息 5,275 一時借入金利息 494	
2 その他医業外費用	6,619	7,088	469	6.6	患者外給食材料及び患者外寝具費用等	
3 特 別 損 失	1 特 別 損 失	2,434	5,941	3,507	59.0	平成15年度分不納欠損(198件)
4 予 備 費	1 予 備 費	3,000	3,000	0	0.0	予備費
差 引	0	0	0			

平成20年度 病院事業会計予算概要

《資本的収入及び支出》

(単位 千円)

区 分	20年度	19年度	比 較	伸率(%)	説 明
資本的収入	186,607	34,942	151,665	434.0	
1 企業債	159,600	0	159,600	100.0	病院改修事業起債
2 負担金	27,006	34,941	7,935	22.7	市負担金(企業債償還金元金の2/3及び1/2)
3 返還金	1	1	0	0.0	看護学生奨学金貸付金返還金
資本的支出	256,015	85,126	170,889	200.7	
1 建設改良費	209,600	30,000	179,600	598.7	
1 病院整備費	159,600	0	159,600	100.0	病院改修工事
2 有形固定資産購入費	50,000	30,000	20,000	66.7	医療機器等
2 企業債償還金	46,055	54,766	8,711	15.9	企業債償還金元金
3 貸付金	360	360	0	0.0	看護学生奨学金貸付金
差 引	69,408	50,184	19,224		

資本的収入額が、資本的支出額に対し不足する額69,408千円は、過年度分損益勘定留保資金(平成18年度末:449,323千円)で補てんするものとする。